

令和7年2月7日（金） 14：00～16：00 CSルーム

令和6年度 第4回横山小学校運営協議会

～ 次第 ～

※開催要件（過半数の出席）確認

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 議長の選出

4 前回会議録確認

5 熟議

（1）学校関係者評価について（教務）

※「学校いじめ防止基本方針」に基づく取組状況や目標達成状況

（2）次年度の学校経営の基本方針について（校長）

（3）学校運営協議会の自己評価について（教頭）

6 報告

- ・夢育やらまいか事業（CS加算分）について（教頭）
- ・「ちいさな親切」運動 あいさつ運動協力校の取組について（教頭）

7 連絡

- ・浜松市教育委員会 教育総務課より
- ・次年度の学校運営協議会委員について
※学校運営協議会委員研修 3月5日（水）14:00 浜松市教育会館 別紙参照
新規委員はスマートフォン等での出欠回答（現地受講かオンライン受講）、
なお、継続委員もオンライン受講可能
- ・コミ・スクだより（CSコーディネーター）
- ・卒業式の御案内 ※期日までに回答をお願いします。
- ・次回（現時点での予定）

開催日時：令和7年4月24日（木） 13：45～15：45（授業参観含む）

議長選出：出席委員の互選

熟議内容：学校経営の基本方針について

学校評価アンケートの項目について など

令和 6 年度 横山小学校運営協議会名簿

※敬称略

		氏名	備考	
1	会 長	青山 敏郎	人権擁護委員、元校長	
2	副会長	溝口 玄	竜川ふれあいセンター活動推進委員会委員長、元校長	
3	委 員	内野 永土	竜川連合自治会長	
4	〃	藤澤 徳次	R 4 ・ 5 龍山自治会連合会長（現 副会長）	
5	〃	今場 嘉寿	元横山小 P T A 会長	
6	〃	長田テツ子	元体育指導員	
7	〃	田中 綾	R4 P T A 会長代理、元竜川幼 P T A 会長	
8	〃	太田亜希子	学校支援コーディネーター、保護者代表、元竜川幼 P T A 会長	
9	〃	猪 さやか	保護者代表	
	ﾌﾞﾞﾞ-ﾊﾞ-	増田 健一	竜川ふれあいセンター所長	
	ﾌﾞﾞﾞ-ﾊﾞ-	藤澤 典広	浜松市龍山支所長	
	ﾌﾞﾞﾞ-ﾊﾞ-	坂井 久司	龍山民生委員、児童委員協議会会長	
	ﾌﾞﾞﾞ-ﾊﾞ-	森下 智子	竜川主任児童委員	
	ﾌﾞﾞﾞ-ﾊﾞ-	藤原二三美	龍山主任児童委員	
		長坂麻里子	校長	
		川村 雄司	教頭	
		遠見石範子	教務主任、コミュニティ・スクール担当	
		沖 みどり	C S ディレクター	
		市川 有佳	学校支援コーディネーター、図書館補助員、理科支援員	

令和 7 年度 横山小学校運営協議会 年間開催計画（2月7日現在）

回	日時	備考
第 1 回	令和 7 年 4 月 2 4 日（木） 13:45～15:45	授業参観
第 2 回	令和 7 年 6 月 5 日（木） 9:30～11:30	授業参観、教職員の参加
第 3 回	令和 7 年 1 0 月 1 4 日（火） 13:45～15:45	授業参観
第 4 回	令和 8 年 2 月 6 日（金） 13:45～15:45	学校関係者評価、協議会自己評価

令和6年度 第3回 横山小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年10月15日（火） 13時45分から15時50分まで
- 2 開催場所 横山小学校 3階CSルーム
- 3 出席委員 内野 永士、藤澤 徳次、青山 敏郎、溝口 玄、今場 嘉寿、
長田 テツ子、田中 綾、猪 さやか
- 4 欠席委員 太田 亜希子
- 5 オブザーバー 増田 健一（竜川ふれあいセンター所長）、藤澤 典広（浜松市龍山支所長）、
坂井 久司（龍山民生委員）、森下 智子（竜川主任児童委員）
- 6 学校支援コーディネーター 市川 有佳
- 7 学 校 長坂 麻里子（校長）、川村 雄司（教頭）、遠見石 範子（CS担当）
沖 みどり（CSディレクター）
- 8 教育委員会 井島 健蔵（教育総務課）
- 9 傍 聴 者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 沖 みどり
- 11 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、青山会長から溝口副会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- （1）授業参観での子供の様子（感想発表）
- （2）前期学校評価の結果と2学期以降の取り組みについて
- （3）「目指す子供像」について（グループワーク）

13 会議記録

司会の川村教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）授業参観での子供の様子について

議長から、授業参観での子供の様子について感想を求めたところ、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 委員になってから運営協議会出席の際には、毎回授業を観させていただいている。小規模校ということから先生も子供たちも顔見知りの中で勉強をしている状況で、果たして他の学校ではどういう雰囲気で行っているのか気になる場所である。（今場委員）
- ・ タブレット使用での授業が常態化している中で、紙と鉛筆しかない状況でも、どう対応するかを同時に学んでほしい。（青山会長）
- ・ 授業参観をして、小学校においてすべてを学ぶのではなく、勉強の仕方や術を学ぶのだと感じた。昔と違い社会科見学するに際し、下調べから学習に入っていく等、時代に合った学習がなされていると思った。（坂井オブザーバー）

（2）前期学校評価の結果と2学期以降の取り組みについて

議長の指示により、教務主任の遠見石から、別紙資料に基づき前期学校評価の結果と2学期以降の取り組みについて説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 資料内の「タブレットの約束」とは、どういうものか。(溝口副会長)
- ・ タブレットの自宅への持ち帰りに際し、学習以外のインターネット乱用や、本体の乱暴な取り扱い等細かな使用上の注意を約束したものである。(教務：遠見石)
- ・ 中学や高校では授業中にも拘わらず、友達間でのチャット等の乱用が問題だが、小学校でもみられるのか。(溝口副会長)
- ・ 子供たちの技術は、吸収が早く大人の上をいく。「情報モラルの学習」も以前は5、6年生で行っていたが、3年生くらいから行わなければいけない状況となっている。重要な課題である。(校長：長坂)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3)「目指す子供像」について

議長の指示により、教頭の川村から、別紙資料に基づき「目指す子供像」についてグループワークを行う旨の説明があり、グループごとの発表後、委員からは以下の発言があった。

【Aグループ：青山会長、藤澤委員、長田委員、猪委員】

【Bグループ：溝口副会長、内野委員、今場委員、田中委員】

- ・ 中学に入ると不登校になる子が増えている。楽しく通える学校を作ってほしい。(内野委員)
- ・ 何事にも負けない強い子に育ててほしい。(今場委員)
- ・ 一人一人の個性や良い所を伸ばしてあげてほしい。(長田委員)
- ・ 願うことはいろいろあるが、「人に優しく」が一番簡単で難しいことであると思っている。横山小の子供たちは卒業後も、それが身についていると感じられる。人数が少ない分、子供たち同士だけに限らず、先生や地域の方とも密に関われた結果であると思う。(猪委員)
- ・ 皆さんの意見は、人として基本的な事であり、いつの時代も願うことは同じである。子供を育てることにマニュアルはなく、今回の話合いが一人一人にあった教育の道しるべとなっていけばよいと思う。(藤澤オブザーバー)
- ・ 個人としては、いじめや不登校を心配している。困った時に、人に「助けて」と言える子、人に頼ってもいいんだと思える子を育てていってほしいと思う。(森下オブザーバー)

その他報告事項等

学校支援コーディネーターから、4年生の総合的な学習の時間への支援と大太鼓の移動運搬への支援についての報告があった。

教頭からは、別紙資料の「PTA教育講演会」の御案内、資源回収について、学校運営協議会自己評価についてのお願い、「いじめの理解と対応について」のリーフレットの紹介、第3次浜松市教育総合計画後期計画に関する実態把握調査のお願い、「たつ子発表会」の案内があった。

また、校長からは、浜松市学校規模適正化説明会（横山小学校区保護者意見交換会）の開催と横山小学校学校運営協議会第Ⅱ期委員についての連絡があった。

司会からは、次回会議を令和7年2月7日（金）午後2時よりCSルームで開催する旨の報告があった。

横山小学校についてのアンケート(集計:11月)			評 価 ※児童評価と15%以上の差→青			
No.	項目	質問事項	児童 (%)	保護 者 (%)	職員 (%)	学校 運営 協議 会 (%)
1	学 習	家庭や学校で、進んで学習に取り組み、自分の考えをもっている	80	63	80	80
2		家庭や学校で、話し合いを通して考えを深めている	88	73	80	80
3		家庭や学校で、わかった、できたを実感している	93	70	75	80
4	生 活	家庭や学校で、お互いを大切にしている	93	80	75	85
5		家庭や学校で、自分からあいさつしている	98	80	70	90
6		家庭や学校で、ふるさとを大切にしている	100	83	95	90
7	運 動	家庭や学校で、目標が達成できるように、最後までこつこつ活動に取り組んでいる	85	75	65	80
8		家庭や学校で、進んで運動技能と体力を向上させようとしている	88	75	75	90
9		家庭や学校で、健康な心と体を意識して高めようとしている	88	73	75	85
10	キ ャ リ ア 教 育	(34年)家庭や学校で、話をよく聴いたり、自分の考えを伝えたりして、協力して活動している (56年)家庭や学校で、相手の意見をよく聞いたり、話し合いに積極的に参加したりしている。また、大人数の中でも、友達と仲良くすごせる	88	75	85	80
11		(34年)家庭や学校で、自分のことを理解し、明るく健康な生活をしている (56年)家庭や学校で、自分の感情や行動をコントロールして、ねばり強く行動し、明るく健康な生活を送っている	90	78	70	75
12		(34年)家庭や学校で、自分なりのめあてをもち、自分の力で課題を解決しようと努力している (56年)家庭や学校で、課題を解決するために、ねらいや目的を理解し、計画を立て、順序よく考えて答えを導き出している	88	68	65	70
13		(34年)家庭や学校で、身近な働いている人に興味・関心をもっている。また、学習や活動が自分の将来につながっていることが分かる (56年)家庭や学校で、職業への興味・関心をもち、なりたい自分をイメージしている。また、周りの人のために行動している	98	65	70	80
14	学 校 教 育 目 標	なりたい自分像を思い描き、成長していく自分の姿に、喜びや期待を感じながら、自己伸長に努めている	90	65	75	75
15		自己理解を深め、自信と誇りを持ち、他者と協調しながら自分のよさを表現している	95	75	80	85
16	学 校 に つ い て	児童、保護者、地域の方へ、丁寧な対応をしている	/	75	88	80
17		保護者、地域の方へ、教育課程を理解してもらえるように努力している	/	73	88	85
18		個の応じた指導の充実に努めている	/	83	88	90
19		いじめの根絶に向けて、組織的、計画的な取り組みを積極的に行っている	/	78	88	85
20		子供たちの安全性の確保に努めている	/	83	88	90

1 【知】「自分から 学び合う子」 主体的に学びに向かう力の育成

<成果>

- 個々の実態に応じた支援を行うことで、前向きに自信をもって学習する様子が見られるようになってきた。
- タブレット PC を活用した朝学習などを行うことで、個々の進度に応じた基礎・基本を補充し、家庭学習に広げることができた。
- 毎時間、身に付けたい力を子供と共有して授業を進めることで、見通しをもって学習を進めることができた。

<課題と方策>

- 子供対教師の授業形態が多く、子供同士で話し合い、学び合う形態に進んでいかない。
→学習集団の人数に合わせて、より効果的な話し合い・学び合いができるような手立てを工夫する。
- 家庭学習に進んで取り組めない子、登校してから家庭学習を行っている子がいる。
→「自分に必要なものを、自分で決めて考え、自分の生活に合わせて」進めることができるよう、個々にあった家庭学習を一緒に考え、学習習慣を身に付けていきたい。

2 【徳】「みんな仲よく 認め合う子」 自他のよさに気付くことができる力の育成

<成果>

- 委員会活動での創意工夫を生かしたイベントの開催や、実行委員会を作って活動することで、「自分から」進んで活動する場面が多くみられるようになった。
- 決められた場での挨拶が進んでできる。
- 地域を知り、地域に学ぶ活動を多く設定することで、ふるさとを大切にする気持ちは全児童がもっている。

<課題と方策>

- 正しく温かい言葉遣いができていない場面もある。
→あいさつプラス気付いたことを言葉にすることを勧めることで、お互いに助け合い、補い合える子にしたい。
- 来年度は全校とクラスが同じになる。
→メンバーや行事の内容を変えたり工夫したりすることで新鮮な場面を作る。また、子供たちの意見を生かした行事や活動の運営をしていく。

3 【体】「力いっぱい 高め合う子」 目標に向かってねばり強く取り組む力の育成

<成果>

- 途中で弱音を吐かず、目標達成に向けて、運動に進んで取り組む子が増えた。
- 外部講師を招き、一緒に活動することで、目標に向かう意欲が高まった。
- 自分で伸ばしたいと思う種目については、進んで取り組むことができた。
- 自分の健康課題を意識する子が増え、蓄積したデータから、自分の健康への関心を高め、傾向を知って自身の健康維持に生かそうとするようになってきた。

<課題と方策>

- 粘り強く活動に取り組むことについて、児童と大人で評価の違いが大きかった。意欲を継続させるための働きかけが必要である。
 - 記録の伸びや取り組みへの意欲を実感できるような学習カードの工夫をする。
 - 少人数だからこそ運動時間を多く確保できることを生かし、体育の授業の内容を工夫する。
- 自分の健康課題の改善までには至っていない。
 - 元気チェックなどでの良い表れが、良好な健康状態につながっていることを実感させ、良い生活習慣作りを促したり、子供たちの実態に応じて、タイムリーな課題について、「ハッピー健康の日」などの保健指導を即時行ったりする。

4 【総括】

<成果>

- 1年間を総じて、子供たちは、目標に向かって様々な活動に取り組み、成長を目指してがんばっている様子が見られた。
- いじめ防止基本方針や学校の決まりについて、児童、保護者、学校運営協議会に説明し、意見を求めたり、校内で見直したりしながら、いじめ防止の取り組みを進めることができた。個々に抱えている悩みを保護者と連携して支援することで、どの子も、心と体が健康で、楽しく学校に通うことができた。

<課題と方策>

- 「自分から」「こつこつ」取り組む姿がもっと見られるとよい。
 - 授業や家庭学習への取り組み、行事に向かう目標、運動面などいろいろな場面で、横山小学校の重点目標(キャリア教育の目標)を意識できるように工夫する。
- 昨年度同様、子供と大人の評価に大きな違いが見られた。
 - 「たより」「ブログ」「参観会」「懇談会」「さくら連絡網」などで、ねらい達成のための取り組みや子供たちのがんばりについて伝えたり、学校公開を積極的に行ったりして、教育活動の「見える化」をさらに進める。

R7.横山小日課表(検討中)

	月	火	水	木	金
8:00～8:10	健康観察・朝の会				
8:10～8:55	1校時				
8:55～9:00	休み時間(5分)				
9:00～9:45	2校時				
9:45～9:50	休み時間(5分)				
9:50～10:35	3校時				
10:35～10:45	休み時間(10分)				
10:45～11:30	4校時				
11:30～11:35	休み時間(5分)				
5校時 11:35～12:20	5校時				
12:20～13:05 給食 ※5校時授業昼休みなし 13:20下校					
13:05～13:40 (13:35～昼活動の準備) 昼休み					
13:40～13:55	清掃	学級	集会等(読書)	清掃	読書
14:00～14:45	6校時		帰りのしたく・帰りの会 ※14:10下校	6校時	
14:45～14:55	帰りのしたく・帰りの会 ※15:00下校		打合せ ミニ生徒指導 会議 研修 14:25～ 16:00	帰りのしたく・帰りの会 ※15:00下校	
					
◆登校バス着 7:40	◆下校バス 5時間昼休みなし 13:20 5時間昼休みあり 14:10 6時間 15:00				

-8-

【令和7年度 行事予定について】 ※赤字…決定

1学期 4月 7日～ 7月18日(72日間)
2学期 9月 2日～12月23日(76日間)
3学期 1月 7日～ 3月17日(47日間) 卒業式3月17日
195日間

○参観会・懇談会など

第1回… 4月19日(土) 参観会・保護者説明会・PTA総会・引き渡し訓練

第2回… 検討中

第3回… 検討中

第4回… 2月20日(金) 参観会・保護者説明会・懇談会

※ 子供たちの様子をより見ていただけるよう、検討中です。

○運動会

5月24日(土)午前中 予備日 25日(日)

○臨海学校(5年連合)

10月22日(水)～23日(木) 三ヶ日青年の家

○修学旅行(6年)

11月20日(木)～21日(金) 東京方面

○個別面談

夏季… 7月22日(火)～24日(木) (夏休み中)

冬季…12月 3日(水)～ 5日(金)

浜松市の学校教育基本理念

「描く夢や未来の実現」

〔主体性〕〔多様性・包摂性〕〔信頼・協働〕

令和7年度 横山小学校

グランドデザイン

光が丘中学校区一貫教育

<目指す子供像>

試す人・信頼される人・夢ある人

<交流教育>

校訓

みんな仲よく
自分から
力いっぱい

学校教育目標

ふるさとを愛し、夢や未来に向かって 挑戦する子供

コミュニティ・スクール＝地域とともにある学校

家庭：保護者・家族、PTA活動

○やすらぎ・しつけ・見届けの場所

学校：全職員

みんなでつくるみんなの

横山小学校

自分らしさ

安全・安心

- 伴走者として、支援する職員
- 協働し、学び続ける職員
- 人権を尊重する言動がとれる職員

○地域の宝である竜川・龍山の子供たちの健全な育成に努め、学校教育の支援及び地域の文化向上に寄与する（育てる会会則より）

児童

地域：学校運営協議会・各種団体・コミュニティ

○学び・交流・貢献の場所

重点目標と

10の取組

(P:計画, D:実行)

⑩ 横山小キャリア教育の推進

自他を大切にする子

ねばり強く取り組む子

主体的に行動する子

仲間・自分

解決

夢

人間関係形成・社会形成能力

自己理解・自己管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

たつ子わくわくチャレンジ（特活、総合的な学習の時間、教科）を核として

評価（C:振り返り
A:改善）

- ① 自立した学習習慣の定着
- ② 実生活・実社会とつながる学びの推進
- ③ ICTを有効に活用した授業改善

- ④ 体験・交流活動の充実
- ⑤ 道徳・人権教育の推進
- ⑥ 「心の輪 挨拶運動」の活性化

- ⑦ 安全教育の充実
- ⑧ 健康教育の充実
- ⑨ 運動技能と体力の向上の取組み

(様式2) 「協議会としてまとめた結論」を(様式1)に記載して提出します。

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 (委員の意見)

<本年度の目標>

- 過疎化・少子高齢化が進む地域の小規模校において、子供、学校のために、地域が学校支援として何ができるのか熟議する。
- 地域に学ぶ活動における支援のあり方について熟議する。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・熟議まではできなかったように思う。
- ・学校が目指す「誰もが安心できる温かで魅力ある学校」を児童や保護者と先生及び地域の方が連携し、どのように支援するか、また少人数でのよさや強みに対する意見や子供たちの生活・学習態度から感じる元気で仲良く遊ぶ様子を共通認識する中で熟議することができた。
- ・できたと思う。児童を思いやる委員の皆さんの気持ちがよく表れていたと思う。
- ・学校教育目標や学校運営の基本方針について、校長の説明を聞いて、それぞれの立場で質問し、建設的な意見交換をすることができた。
- ・少数でありながら、誇りをもてる学校であること。
- ・学校運営の方針については、理解しようと思う。
- ・子供たち、学校のために、地域ができることには限りがある中で、要請に基づいた行事参観、授業参観、発表会等への参観等を通じて、学校教育への協力を進めようという方向での意見交換は、ある程度進められたと思う。
- ・委員が学校教育目標や学校運営の基本方針の内容を理解し、共有した。マンツーマンの指導になっていくと思うが、それを生かして他校にない授業を行い、少人数の強みを生かす。

【協議会としてまとめた結論】(案)

※学校経営の基本方針(自校の学校教育目標や「育てたい力」等)について、協議した内容を簡潔に記載する。(1~2点でもよい。)

- 学校教育目標(夢と希望をもち 自分らしく生きる子供)、目指す学校像(だれもが安心できる温かで魅力ある学校)、目指す子供像(自分から 学び合う子、みんな仲よく 認め合う子、力いっぱい 高め合う子)を共通認識し、学校行事や授業の様子などの参観を通して、少人数のよさや強み、課題について意見交換ができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・学校行事への参加、子供たちとのふれ合いなど、委員それぞれの立場において、協力を惜しまないことを会議の場でそれぞれが語り、この約束を果たしていくよう努力したと考える。
- ・学校、家庭、地域が実行することは理解する。
- ・すべて良です。
- ・それぞれの立場で教育活動の充実につながる学校支援活動のあり方について、じっくり考え、熟議を進めることができた。
- ・グループでの意見交換は、発言の機会も増え、効果的であった。
- ・できたと思う。総合的な学習の時間への支援や大太鼓の移動運搬への支援など、多くの地域の方が支援してくださり、感謝している。
- ・学校支援活動について、グループワークにより活発に意見交換ができ、瀬尻のぶか風などの地域の行事を学ぶことや今後について地域の魅力を伝えてくれる人材の確保や、学習発表会・運動会などを地域と交流することで地域を元気にすることについて、どのように進めたらよいか熟議することができた。
- ・できたと思います。
- ・学校教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議を重ねた。ぶか風、大谷グローブ、うどん打ち等の意見があった。地域人材等の活用をする。

【協議会としてまとめた結論】(案)

※成果・課題等を簡潔に記載する。方法論だけではなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。(1~2点でもよい。)

- グループワークを通して、総合的な学習の時間や学校が抱える課題への支援について、委員それぞれの立場から多くの発言があり、熟議することができた。それらのいくつか、具体的な学校支援活動につながった。

<評価項目 3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・情報発信まではできていません。
- ・たよりや自治会を通じて、P T A資源回収の周知や学習発表会への参加のP Rなどで発信しているが、児童が少ない地域での情報発信は難しい状況で足りなかった。
- ・協議結果についての情報発信は少なく、あまり外部では認知されていない気がする。
- ・協議結果を受けて、地域の会合や様々な集まりの中で、小学校の教育活動の様子を発信しよう努めた。
- ・はい。
- ・特に行っていない。
- ・情報発信という点では、それぞれの委員が自らの所属する地域や組織等の中で、学校の考えや子供たちの様子を個々に伝えられたと思うが、情報発信というレベルには至っていない。
- ・不登校が増えている。困ったときに、人に頼ってよいと思える子供にする。

【協議会としてまとめた結論】（案）

※協議会での協議結果（会議録への記載内容等）について、どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。

■学校だよりへの掲載やホームページでの公開の他、それぞれの立場から地域や所属組織の中で、個々が学校や協議会の考えや子供たちの様子を伝えるようにしているが、さらに情報発信を図っていきたい。

<評価項目 4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・協議会の会議の中で、各委員が意見は述べてきたが、実際に、具体的に協力できること、支援できること、役に立てられることなど洗い出し、実現して効果が上げられるような「見える化」を果たしていきたい。
- ・学校と地域の信頼関係がなくては、ことは進まない。
- ・よろしくお願いします。
- ・本年度の目標を継続し、協議することがよいと思う。地域の子供たち、地域の学校を地域全体で支援していきたい。
- ・児童が少なくなり、それに応じた学校の対応に感謝している。今年度よりも児童数が少なくなる中で、一人一人の個性を伸ばしていくにはどうすればよいか考えたい。
- ・さらに進む人口減少、児童が少なくなる中で、小規模校のよさをさらに発揮できる学校運営と、今の子供たちが誇りをもって卒業できる魅力ある学校づくり
- ・地域のためではなく、子供たちのために地域が取組をする。

【協議会としてまとめた結論】（案）

※1、2点に絞り、記載する。

■学校のさらなる小規模化に対応する学校経営の基本方針や教育課程に基づきながら、引き続き、子供、学校のために、地域が学校支援として何ができるのか熟議する。

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(横山小) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 過疎化・少子高齢化が進む地域の小規模校において、子供、学校のために、地域が学校支援として何ができるのか熟議する。
- 地域に学ぶ活動における支援のあり方について熟議する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

学校教育目標（夢と希望をもち 自分らしく生きる子供）、目指す学校像（だれもが安心できる温かで魅力ある学校）、目指す子供像（自分から 学び合う子、みんな仲よく 認め合う子、力いっぱい 高め合う子）を共通認識し、学校行事や授業の様子などの参観を通して、少人数のよさや強み、課題について意見交換ができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

グループワークを通して、総合的な学習の時間や学校が抱える課題への支援について、委員それぞれの立場から多くの発言があり、熟議することができた。それらのいくつか、具体的な学校支援活動につながった。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

学校だよりへの掲載やホームページでの公開の他、それぞれの立場から地域や所属組織の中で、個々が学校や協議会の考えや子供たちの様子を伝えるようにしているが、さらに情報発信を図っていきたい。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

学校のさらなる小規模化に対応する学校経営の基本方針や教育課程に基づきながら、引き続き、子供、学校のために、地域が学校支援として何ができるのか熟議する。

令和6年度 夢育やらまいか事業（C S加算分）【実施報告】

■ふるさとに学ぶ活動の推進

6月 田植え体験



7月 陶芸教室



9月 ボート教室



10月稲刈り体験



10・11月太鼓演奏



12月おにぎり作り（お米収穫祭）





10/8 「ぶか凧」見学



4年生が、総合的な学習で龍山町瀬尻地区に伝わる「ぶか凧」について調べました。伝統を継承するために結成された、瀬尻ぶか凧保存会の方にもお話をうかがい、実物の大きな凧もみせていただきました。

6/6 田植え体験



毎年お世話になっている鈴木さんの田んぼで、田植え体験をさせていただきました。今年も、お米作りについてのお話と、植え方の指導を丁寧にしていただきました。6年生にとっては最後となります。春の匂いと土の感触は、忘れることのない大切な思い出となっていることと思います。貴重な体験をありがとうございました。

9/20 ボート教室



横山小学校の卒業生であり、2004年アテネ五輪のボート日本代表の中本佳保里さんが、御指導してくださいました。ボートの乗り方を教わり、いろいろな経験談もお話してくださいました。ボートを体験することにより、ふるさとのよさやスポーツの魅力に触れることができました。

12/10 全校クラブ
「お米を食べよう」



収穫させていただいたお米を炊いて、おにぎりにして食べました。好きな具を入れて、自分で握ったおにぎりはとてもおいしかったです。

10/7 稲刈り体験



6月に田植えをした鈴木さんの田んぼでは、みんなの植えた稲が黄金色に輝いていました。鈴木さん、伊藤さんには、水田の管理をはじめ、タニシやカメムシの駆除など大変な作業をしていただきありがとうございました。今年は、日々成長していく稲や水田の様子を写真に撮って紹介くださり、子供たちにも身近に感じてもらうことができました。稲刈りでも作業の仕方やこつを丁寧に教えてくださって、子供たちがいっしょに体験できたことをうれしく思います。

7/5 陶芸教室



地域の先輩である陶芸家の山口 剛さんをお招きして、「陶芸教室」を行いました。作り方や工程を教わり、陶芸への思いや経験をうかがうことができました。保護者のみなさんも参加してください、すてきな作品が出来上がりました。山口さん、御指導をありがとうございました。

横山太鼓



10/11 天竜・春野地区音楽科研究発表会



11/16 たつ子発表会

6月から舟橋弘子先生の御指導の下、練習を重ね、今年は3会場で演奏してきました。代々受け継がれてきた伝統を守り、心に響く素晴らしい演奏でした。聴く人たちにも感動を与えてくれました。



11/24 龍山ふれあい文化祭

学校運営協議会

4/25 第 1 回

*** 6年度の目標 ***

- ・過疎化・少子高齢化が進む地域の小規模校において、子供、学校のために、地域が学校支援活動として何ができるのか熟議する。
- ・地域に学ぶ活動における支援のあり方について熟議する。

《熟議内容》

- 1) 学校運営の基本方針について
- 2) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
- 3) 令和6年度の目標について

6/6 第 2 回



《熟議内容》

- 1) 授業参観や運動会における子供の様子
- 2) 学校支援活動の具体化に向けて
 - ① 目指す子供像への取り組み
 - ② グループワークと発表

10/15 第 3 回



《熟議内容》

- 1) 授業参観での子供の様子
- 2) 前期学校評価の結果と2期以降の取り組みについて
- 3) 卒業時に「目指す子供像」について

R7.2月7日(金) 第 4 回

学校運営協議会の自己評価について

※委員に事前に記載していただいた「自己評価について」のアンケートから抜粋させていただきました。

《評価項目1》 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・学校が目指す「誰もが安心できる温かで魅力ある学校」を児童や保護者と先生及び地域の方が連携し、どのように支援するか、また少人数でのよさや強みに対する意見や子供たちの生活・学習態度から感じる元気で仲良く遊ぶ様子を共通認識する中で熟議することができた。
- ・少数でありながら、誇りをもてる学校であること。
- ・学校運営の方針については、理解しようと思う。
- ・子供たち、学校のために、地域ができることには限りがある中で、要請に基づいた行事参観、授業参観、発表会等への参観等を通じて、学校教育への協力を進めようという方向での意見交換は、ある程度進められたと思う。
- ・熟議まではできなかったように思う。

《評価項目2》 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・できたと思う。総合的な学習の時間への支援や大太鼓の移動運搬への支援など、多くの地域の方が支援してくださり、感謝している。
- ・それぞれの立場で教育活動の充実につながる学校支援活動のあり方について、じっくり考え、熟議を進めることができた。また、グループでの意見交換は、発言の機会も増え、効果的であった。
- ・学校教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議を重ねた。ぶか岬、大谷グロブ、うどん打ち等の意見があった。地域人材等の活用をする。
- ・学校、家庭、地域が実行することは理解する。

《評価項目3》 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・情報発信まではできていません。
- ・情報発信という点では、それぞれの委員が自らの所属する地域や組織等の中で、学校の考えや子供たちの様子を個々に伝えられたと思うが、情報発信というレベルには至っていない。
- ・たよりや自治会を通じて、PTA資源回収の周知や学習発表会への参加のPRなどで発信しているが、児童が少ない地域での情報発信は難しい状況で足りなかった。
- ・協議結果についての情報発信は少なく、あまり外部では認知されていない気がする。
- ・協議結果を受けて、地域の会合や様々な集まりの中で、小学校の教育活動の様子を発信するよう努めた。

学校運営協議会委員研修会について（お知らせ）

令和4年度に学校運営協議会を設置した学校の、新規に委員候補となる方向けに、1月17日付で別紙のとおり研修会の開催を通知しているところですが、それ以外の学校運営協議会委員（継続して任命予定の方を含む）のうち希望する方にも、Zoomでの配信を行うこととなりましたので、別紙通知の対象とならない委員にお知らせいただくようお願いいたします。

なお、研修会の概要は下記のとおりです。

記

- 1 日 時 令和7年3月5日（水）午後2時から午後3時45分
- 2 方 法 オンライン受講（Zoomによるライブ配信）
※ 現地受講ではありません。
※ 録画配信は予定しておりません。
- 3 内 容 (1) 制度説明 「浜松市のコミュニティ・スクールの目的・概要」
(2) 講 話 テーマ 「学校運営協議会の円滑な進め方について」
講 師 文部科学省CSマイスター
東京都／杉並区地域学校協働活動推進員
一般社団法人エス・プレイス 代表理事
井上尚子 氏
(3) 質疑・応答 等
- 4 その他 (1) 右のQRコードから視聴することができます。
出欠について、教育総務課への連絡は必要ありません。部分視聴も可能です。
(2) 本件に関して御不明な点がございましたら、担当まで御連絡ください。



担当 教育総務課 井島 牧野 鈴木
電話 457-2401